

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-イ	質の高い医療提供体制の充実・高度化	施策	①地域医療連携体制の構築
			施策の小項目名	○県立病院の持続的な経営の健全化と必要な医療提供体制の整備
主な取組	収益の確保		対応する成果指標	回復期病床数
施策の方向	・県立病院については、地域における中核的な公的医療機関としての役割に応じた安定的な医療提供ができるよう、持続的な経営の健全化と必要な医療提供体制の整備に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
診療報酬を確実に得るための診療報酬改定への対応、DPC分析の強化、査定・返戻の縮減等による収益の確保	県	診療報酬改定への対応、DPC分析の強化、査定返戻の縮減等		
		入院診療単価対前年比		
		101.6%	101.6%	101.6%
担当部課【連絡先】	病院事業局病院事業経営課	【 098-866-2636 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	県立病院医事業務強化事業			予算事業名	県立病院医事業務強化事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	14,628	14,806	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	22,661
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
手術点数請求の点検で過小や過剰請求のチェックを行った。電子カルテより指導料等請求漏れや記載内容の指導の実施。施設基準の見直しを行った。				<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度診療報酬改定に係る情報収集 ・ DPC分析システムの習熟度の向上 ・ 医事業務強化チームによるレセプト点検 		

活動指標名	入院診療単価対前年比		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	103.2%	101.6%	100.0%	順調	算定点検について、令和4年度は26,401,810円の請求漏れ及び8,597,530円の過剰請求防止があった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

算定点検に係る委託業者、職員の習熟度の向上

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
—	県職員向け及び各病院向けの研修・勉強会を計15回（北部病院2回、中部病院1回、南部医療センター・子ども医療センター8回、精和病院1回、宮古病院3回）行い、医事に係る知識・ノウハウの向上を図った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	①医事算定の委託業者の能力に個人差があり診療報酬請求書点検に問題がある。 ②県職員の短期間での移動等による専門知識の希薄化や担当職員のマンパワー不足がある。	① 執行体制の改善	①委託職員の賃金体制の見直しで熟練職員の定着を目指す。②県職員の内製化と施設基準管理システム導入による基準の見直しや適時調査対策を行う。
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	①医事業務強化チームは現在1チームで行っているが、全県立病院の点検を行うには厳しい状況である	② 連携の強化・改善	①医事業務強化チームを2チーム編成にし、点検作業の強化を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-イ	質の高い医療提供体制の充実・高度化	施策	①地域医療連携体制の構築
			施策の小項目名	○県立病院の持続的な経営の健全化と必要な医療提供体制の整備
主な取組	費用の縮減		対応する成果指標	回復期病床数
施策の方向	・県立病院については、地域における中核的な公的医療機関としての役割に応じた安定的な医療提供ができるよう、持続的な経営の健全化と必要な医療提供体制の整備に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
材料費等の適正化、委託業務の見直し等による費用の縮減	県	材料費の適正化、委託業務の見直し			
		医療材料費率			
		20.9%	20.9%	20.9%	
担当部課【連絡先】	病院事業局病院事業経営課		【 098-866-2636 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	材料費縮減PRJ支援事業			予算事業名	材料費縮減PRJ支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	7,551	8,437	県単等	委託	9,879
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
医薬品の価格交渉を8月下旬に妥結した 診療材料を7月下旬に妥結				<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療材料担当者会議の開催 ・ 検査委託に関する調査 		

活動指標名	医療材料費率		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	23.7%	20.9%	88.2%	概ね順調	医薬品及び診療材料について、一括交渉、安価な材料への切替等を行い、年間で約2億1400万円の費用の引下となった

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

医業収益が約19億3,389万円増加したが材料費も6億2031万円増加したため、医療材料比率が増加した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	医薬品の価格交渉について、令和3年度までは7月頃に価格を妥結していた。しかし、医薬品価格の全国相場が7月下旬頃から落ち着くため、8月以降の交渉がより効果的となる。よって、令和4年度からは8月下旬に妥結とし、妥結時期を遅らせて交渉を実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	例年、採用1年目の職員1人が担当しており (担当期間は3年)、継続的に卸業者と価格交渉をするため知識及び経験が必要となるが、現在の人員配置では交渉のノウハウを蓄積することができていない。	① 執行体制の改善	現在の担当1名の体制から、担当1名+副担当の2名体制とすることで、途切れることなく継続的な交渉及びノウハウの蓄積ができることが見込める。
④ 社会・経済情勢の変化 (外部環境の変化)	昨今の円安、ウクライナ情勢及び物価高騰等により、医療材料の定価の値上げ、輸送費の高騰等があり、材料費もその影響を受けた。	② 連携の強化・改善	他院との連携を図り情報収集等を行うことで、他院の状況、他院に対する卸業者の対応等を知ることができ、よりスムーズに交渉に臨めることが見込まれる。
④ 社会・経済情勢の変化 (外部環境の変化)	令和3年度から薬価の毎年改定が始まり毎年薬価が縮減されている。そのため価格交渉を行っても前年度の薬価からの値引率を保つことが難しくなっている。	② 連携の強化・改善	後発医薬品への切替を促進し、薬品費の縮減に努める。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-イ	質の高い医療提供体制の充実・高度化	施策	①地域医療連携体制の構築
			施策の小項目名	○県立病院の持続的な経営の健全化と必要な医療提供体制の整備
主な取組	医師の確保		対応する成果指標	回復期病床数
施策の方向	<p>・県立病院については、地域における中核的な公的医療機関としての役割に応じた安定的な医療提供ができるよう、持続的な経営の健全化と必要な医療提供体制の整備に取り組めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
地域の中核的な公的医療機関として急性期医療を安定的に提供するために医師確保に取り組み、回復期病床との機能分化を図る。	県	他の医療機関との協力連携強化、医師募集情報の発信、各種事業による医師の安定確保		
		地域・離島医療確保モデル事業を活用した招聘医師数(累計)		
		10名	10名(20名)	10名(30名)
担当部課【連絡先】	病院事業局病院事業企画課	【 098-866-2123 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)



(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	地域・離島医療確保モデル事業			予算事業名	地域・離島医療確保モデル事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	2,628	4,232	県単等	直接実施	5,684
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
医師求人サイト等から病院事業局のホームページへ誘導する仕組みを作り、医師募集、病院見学の案内を行った。				病院事業局のホームページをリニューアルし、医師募集を積極的にアピールする。		

活動指標名	地域・離島医療確保モデル事業 を活用した招聘医師数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	13名	25名	27名	10名	100.0%	順調	県立病院での勤務を希望する医師に、職場、住環境を含め見学してもらい、安心して就職できるように案内した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
医師求人サイト等から病院事業局のホームページへ誘導する仕組みを継続した結果、招聘数の増加に繋がり目標値を大幅に上回ることができたため。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
	招聘数増加に向け、医師求人サイト等から病院事業局のホームページへ誘導する仕組みを構築・継続した。



3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	医師求人サイトから誘導するためには、「医師募集広告業務」を委託する必要がある、委託料が発生する。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	費用削減のために、広告業務委託を中止。病院事業局のホームページを活用し、費用を抑えて招聘数増加に取り組む。